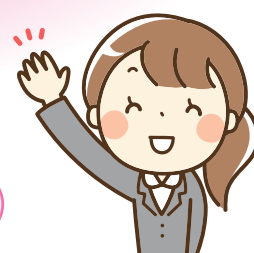


# 町政の 今を問う!

## 一般質問



4議員が11項目の質問を行いました。



ページ	質問者	質 問 事 項
9	堀 辰雄 議員	1. 人口減対策について
9	山本 喜平 議員	1. 避難所となる体育館の空調整備を 2. クビアカツヤカミキリの被害対策を早く 3. 風力発電による電波受信障害について
11	原 孝文 議員	1. 人口維持、定住対策に本気の取り組みを 2. 船津メガソーラー、新たな参入業者への対応 3. ひだか病院の財政赤字に対する市町の支援と取り組み
13	山本 啓司 議員	1. リチウムイオン電池家電の収集を 2. 定住・人口対策としての更なる町有地の活用は 3. 給付型奨学金の創設は 4. 「駅」をキーワード・起点にしたまちづくり



# 1 人口減対策について

人口減少の対応と人口規模の維持に取り組んでいる



堀 辰雄 議員

**問** 本町の人口は減少しており、町としてはどのように考え、対策を講じているか。現在行っている施策を問う。

**答** 2060年に人口7000人程度を維持するため、令和7年3月に第3期日高川町総合戦略を策定し、町の実情や社会の変化に即した、より実効性のある施策に取り組んでいる。

若者や子育て世代への支援に関する子ども医療費や学校給食の無償化、新築補助や新婚新生活支援補助など多数の施策を行っている。

また、移住定住についても、空き家バンクの充実、定住支援員の配置などを行っている。



**問** ①学校体育館では、川辺西小学校体育館に空調を整備しているが、他の小中学校は未整備となっている。このう



山本 喜平 議員

# 1

## 避難所となる体育館の空調整備を

補正予算に学校体育館の空調整備を計上した

③3校は拠点避難所に指定しており、夏季や猛暑日は、教育活動に支障が生じている。また、冬季に避難した住民の健康確保が難しくなる。学校体育館の空調整備を事業化すべきではないか。

②拠点避難所に指定している平スポーツセンターへ空調を整備すべきではないか。

③日高高校中津分校体育館を避難所に指定しているが、空調整備を県教育委員会へ要請しないのか。

④停電に備え、緊急電源を整備すべきではないか。

**答** ①補正予算に、川辺西小学校を除く3小学校及び早蘇中学校の体育館に空調整備する費用を計上している。夏季までには整備を完了したい。

②平スポーツセンターについては、代替施設へ拠点避難所の変更も含め、



クビアカツヤカミキリ被害木

## 2 クビアカツヤカミキリの被害対策を早く

実地講習を行い、対策の強化を図っている



慎重に検討する。  
③中津分校体育館については、平成24年に協定を締結している。大規模な災害発生に備え、県教育委員会へ要請したい。

④自家発電設備の整備には、費用が高額となることから全施設へ導入することは難しい。しかし、効果的な非常用電源の確保を検討したい。

**問** 本町でも、サクラ、ウメなどの樹木を枯らす外来害虫であるクビアカツヤカミキリの被害樹が確認され、被害の拡大が懸念される。  
①被害状況はどうか。  
②実態に則した防除の研修会を開催して対策強化すべきではないか。  
③一般での防除や伐採の負担が多大にならぬように助成をすべきではないか。  
④農家への薬剤費や幹

を被覆するネット資材費などへの補助、改植後の減収補てんが必要ではないか。  
**答** ①令和7年11月時点で、農地では、梅、スモモで計166本、昨年度比69本の増加となっている。農地以外では、桜、桃、スモモで計16本、昨年度比11本の増加となっている。  
②11月14日、県とJA、役場共催で交流センターにおいて、被害状況や対策について研修会を開催した。また、11月27日、JAの梅の剪定講習会において、掘り取り駆除の実地講習を行い、対策の強化を図っている。  
③農地以外の桜などの対策として、県費を活用して補助をし、負担の軽減を図っている。  
④薬剤費への補助は考えていない。樹幹に巻き付けるネット資材費については、今後、まん延防止

## 3 風力発電による電波受信障害について

エリア縮小となれば本数も減る

**問** 新白馬風力発電の事業想定区域内で、御坊局以西のエリアにおいて、無線通信障害が発生することが確認され、風力発電の設置が困難であることが判明した。

対策として検討する。クビアカツヤカミキリに限って減収補てんすることとは考えていない。



①事業者から、無線通信障害が発生することで、本町に対し計画変更する旨の説明はあったのか。  
②計画変更となれば、本町への風力発電の建設数が増加するのか。  
③受信障害は広範囲の住民に影響が出るのではないのか。  
④既設の風力発電稼働によるテレビ、ラジオの放送と行政無線放送で電波障害は発生していないのか。

**答** ①11月中旬頃、事業者から事の経緯についての説明を受けた。  
②当初、最大17基の建設が予定されていたが、当然、エリア縮小となれば本数も減るとの報告を受けている。  
③現在の風車は放送電波に影響を与えない場所に建っている。そのエリアに建て替えを行っても影響がないとの調査結果になっている。

④現在建設されているエリアは、電波を送受信しているエリアではないので影響はない。白馬ウインドファームに確認したが、電波障害が発生しているとの報告を受けていないとのことだ。

## 1 人口維持、定住対策に本気の取り組みを

既存の概念にとらわれず、様々な施策をおこなっていく



原 孝文 議員

**問** 本町は、近隣市町と比べ子育てや移住定住の施策が充実しているが、それだけでは人口維持に中々繋がらないのが現実だ。

島根、岡山の視察で感じた事は、行政の本気度、気構えに違いがある

ということ。情報発信や交流イベント、相談など、本気度によって大きな違いが出てくる。本町に不足しているのはこの点だと思いがどうか。

本町の未来予想は、現実的なものになっているのか。何をしなければならぬのか明白になっているのか。体制は十分か。

町民一人ひとりに人口維持への意識付けをしていく必要があるのでは。

**答** 取り組んでいる施策によって、減少スピードを遅らせてはいるが、人口維持にまでには至っていない。

真剣に向き合っており、本気度が不足しているとは思わないが、既存の概念にとらわれず、他市町の事例も参考に様々

## 2 船津メガソーラー、新たな参入業者への対応は

県と共に、今まで以上に強く求めていく

**問** 業者が会社更生法を申請し、新たな業者が参入し、工事が再開した。参入業者の実績と信用性についての見解を伺う。

不備があることを理解しているが、林地開発と工事を許可した県や町の責任についての見解は。

な施策を行っていく。

住民全体で考えることは非常に大事なことであり、視察先の様子を聞いており、大いに参考にしている。今後の方向に生かしていければと考えている。

懸案となっていた防災工事の完成と農業関係の問題解決はどうなるのか。

町道の付け替えや占用等の申請と許可要件はどうなっているのか。議会への報告もまだである。もともとこれらは開発許可が出る前に済ませてお

くべき事項であり、なし崩し的で、行政軽視でないのか。

**答** 事業者は変わらないが、代表者が変更される形で事業が継続されるとの報告だ。情報は限られており、まだ確定的な評価を行える段階にない。

せられており、これまで以上に県と共に、法令遵守や防災対策の履行を強く求めてゆく。

調整池は2ヶ所完成し、残りも7年中完成と報告を受けている。農業用水問題も、協議が円滑に進むよう必要な支援を行ってゆく。町道関係については、継続的に協議を進めており、必要な許



「船津メガソーラー」太陽光発電建設現場

可は下ろしている。議会へも改めて説明したい。



### 3 ひだか病院の財政赤字に対する支援と取り組みを 支援は構成市町の足並みをそろえる必要がある

**問** 経営者の一員として、町は病院の位置付けと財政状況をどう見ているのか。物価高や最低賃金引き上げへの対応などの財政支援対応が必要では。

病院の体質改善の必要性についての考えはどうか。例えば、救急受け入れ改善や訪問看護の実施、健診の充実、開業医との関係強化等求められるのでは。

全国的に9割の自治体病院が赤字となっているなかで、国へ要望を上げていく必要もある。特に材料費を含めた診療報酬体系の改善、設備や医療機器等にかかる消費税の控除拡大は急務と考えるが。

**答** コロナ補助金の廃止や外来収入の減、人件費や物価高騰、減価償却費等が赤字の要因で厳しい状況が続いているが、地域医療を守る重要な役割を担っており、採算性の低い分野も力バーしている。

病院の運営費用は、医療収益と市町からの負担金で賄われており、今までは違う部分の費用増





への対応は、構成市町の足並みをそろえることが必要だ。  
 体質改善についても詰めた話をしてきており、救急受け入れや健診も強化してきている。  
 診療報酬が上がらないことには、どこの病院も同じことであり、公立病院が連名で国へ要望を上げている。

# 1 リチウムイオン電池

## 家電の収集を

本庁、支所、出張所の外に不燃性の収集容器を設置する



山本 啓司 議員

**問** 近年リチウムイオン電池は私たちの生活に欠かせない家電製品のエネルギー源となっているがゴミ収集の過程で発火する事故も全国各地で頻発している。

廃棄に係る国のルールは策定されておらず、現状では自治体ごとのルールで対応しているのが実情だ。

リチウムイオン電池製品の廃棄と収集方法について、啓発の増進に繋げ

るべく、新たに設ける予定はないのか。

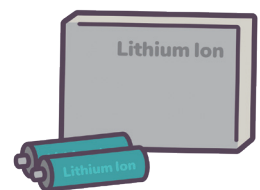
**答** リチウムイオン電池製品の廃棄については、バッテリー内臓製品等の販売業者による引き取り、御坊広域清掃センターへの持ち込みの他、日高川町では本庁・支所・出張所への持ち込みとしている。

問い合わせが月に数件あるが、苦情は現在のところない。

御坊・日高管内の担当課と御坊広域清掃センターでリチウムイオン電池の適切な処理について協議をしている。

今後本庁、支所、出張

所の建物の外に、不燃性の収集容器を新たに設置する準備をしており、広報紙等で周知していきたい。  
 従来通り御坊広域清掃センターへも直接持ち込める。



# 2 定住・人口対策としての更なる町有地の活用は

そろそろ次の候補地の売却を進めたい

**問** 特養ときわ寮川辺園前の旧テニスコート跡地の業者による宅地事業については、新たな建設も着工されており、この先全区画完売に向け期待を寄せるものである。

事業計画策定当時の総務文教常任委員会も積極的に提案、候補地調査を行っている。

定住施策が喫緊の課題

となっている今、利用予定のない町有地を民間事業者売却し、宅地に活用する事業の次の予定について、町長の構想と考

**答** 旧テニスコート跡

地については、13区画中10区画が成約となっており、売れ行きに思った以上に時間がかかったが、

そろそろ次の候補地の売却を進めたい。  
以前調査した町有地を中心に、次の候補地としたい。

### 3 給付型奨学金の創設は

制度設計を進めており  
新年度4月より実施したい

**問** 6月議会において、同僚議員が町の育英奨学金制度を活用した人□維持対策を提案した。卒業後の町内定住・就業を条件に貸与額の返還

額の減額や免除の検討を促す内容で、答弁では「教育委員会とも相談し制度設計含め研究したい」と前向きな回答をしていた。

進学先の目標についてほぼ決定するこの時期。実施に向けた進捗状況や担当部署はいかに。

**答** 新年度から実施したく、教育委員会と相談しながら制度設計を進めている。

現行の育英奨学金制度は従来通り教育委員会が担い、返済を行う際、毎年条件該当者からの申請に基づき、その返済を町が肩代わりする内容を予定している。

肩代わりの担当部署は定住促進と言っ面で企画政策課が担うことに決まっている。

### 4 「駅」をキーワード・起点にしたまちづくり

難しいが、コンテンツとしての優位性を生かせれば

**問** 人口減少社会のなか、鉄道事業者、自治体に課せられた責任は、今大きな向かい風だ。JRは白浜以南が大幅赤字、猫の「たま電車」は上下分離方式への移行、紀州鉄道の存続問題と各所で問題提起。

近隣の町は公共交通の重要性を認識し、駅、駅

舎の保存と活用以前から汗をかいている。

ピンチをチャンスに、日高川町の玄関口である和佐駅や、道成寺駅を起点とした町づくりの取り組みの必要性や次の①③に関する町長の考えは。

①指定管理施設のPRのため、和佐駅名のサブネーム公募と実現働きかけ。  
②和佐駅舎の現状。  
③駅と駅近くの施設を結びシャトルバスの運行。

**答** 駅を起点とした町づくりは難しいと考えるが地域にとっては優位なコンテンツなので、活性化に向けた施策を今後も考えたい。

①交渉・協議は可能としても現在の駅舎では（スペース的に）困難。

②和佐駅の何らかの整備の必要性は町として感じているのでJRとも協議し対策を考えたい。

③利用見込み者数の検証の点で難しい点が多く今後の検討課題。



和佐駅